

桃の木幼稚園 学校関係者評価委員会

令和6年度 第1回 議事録

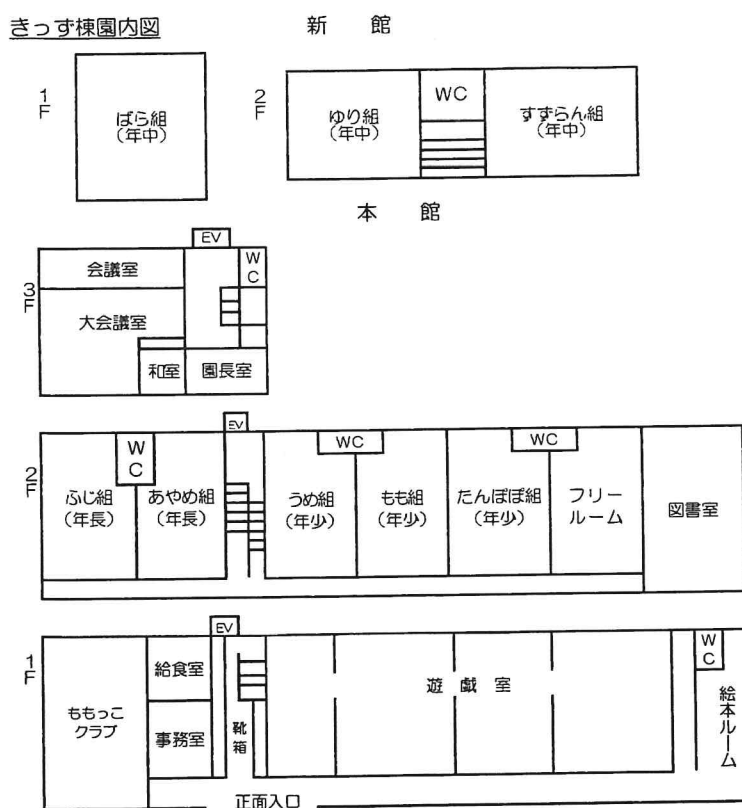
1.日 時 令和7年3月3日(月) 15:00～17:00

2.場 所 桃の木幼稚園 きっず棟3階 会議室

3.内 容

15:00～ 公開保育

各自来園され、順次園内を見学して頂く



15:30～ 学校関係者評価委員ご紹介

理事長がまず挨拶し、全員出席の御礼をのべ、各委員をご紹介した

15:35～ 学校法人ならびに幼稚園概要

園長より資料①～⑩について説明

15:45～ 令和6年度自己評価について

理事長より自己評価の項目の説明

園長より自己評価集計表についての説明と反省

15:55～ 本年度幼稚園行事

委員の方々に各月送付しているえんだよりをもとに園長より
令和6年度の行事の説明を行う

○神戸市立桃山台中学校 水口校長先生よりのご意見

公開保育ありがとうございました。幼児たちがしっかりと挨拶してくれ、嬉しかったです。今年度もトライやるではお世話になりました。また昨年に引き続き、中学3年生の保育の授業「プレ親」の活動を行うことができ、中学生の新たな一面を見ることができました。ぜひ来年度も「ふれあい体験学習」や地域連携、研修等一緒に取り組んでいければよいと考えます。

○神戸市立下畑台小学校 水金校長先生よりのご意見

先週の交流会では、この4月から新1年生となる子どもの様子を見ることができ、大変良かったです。落ち着いて先生の話聞いているので、いつでも1年生になれると思いました。今年度より指定校となり、保育の見学や学校行事の参加等交流を深めることができ、ありがとうございました。今年も昨年同様に下畑台小に年長55名の園児さんに来て頂き、交流が行えたことが大変良かったと思います。引き続き幼小連携をしっかり行っていきたいと考えます。

○神戸市立つつじが丘小学校 安若校長先生よりのご意見

今年度からつつじが丘小も指定校となり、児童音楽会に来て頂いたり、園の運動会の予行やクリスマス音楽会に來させて頂いたり、大変勉強になりました。そして先月の学校のオープンスクールの際には幼稚園の先生方に来て頂くことができました。来年も引き続き交流できたらと思います。

○神戸市立桃山台児童館 牟田館長よりのご意見

学童保育の人数は増え、今年度4月からつつじが丘小にもコーナーを設置し31名の生徒が利用しています。みずき台がつつじが丘と桃山台の間に開発され、580戸の住居が建ってきています。みずき台は下畑台小の校区となっています。つつじが丘小の方が近くなので、変更はできないでしょうか？

→(下畑台小 水金校長より)

教育委員会で決定したことは変えられません。

○桃山台自治会副会長 家原様よりのご意見

私の子どもが桃の木幼稚園を卒園させて頂きました。又、職員でもあります。桃山台の地域は高齢化し、もっと若い方に入って頂きたいと願っています。みずき台の話も自治会の会議に出ています。桃山台からの道へ、通りに信号をつけてもらえるよう垂水警察へ申請しています。小中学校の生徒の登下校の道順によって信号機の設置を検討してくれるとのことでした。

○桃の木幼稚園愛児会 学年代表 森岡様よりのご意見

今年度年長の子どもがおり、小3の姉もお世話になり、ありがとうございました。桃の木幼稚園は「一番にこども達の事」を考えてくださり、行事も最善の方法を工夫してくださり、たくさんの思い出ができました。もうすぐ卒園となりますが、感謝の気持ちでいっぱいです。小学校の放課後クラブのお手伝いをしていますが、お手伝いの方が減っています。どこも人材不足で大変でしょうが、子ども達のために何かお手伝いできることがあればしていきたいです。

○桃の木幼稚園 卒園生保護者 西本様よりのご意見

一昨年に息子が卒園させて頂き、今乙木小の2年生です。桃の木に通っていたお友達と今も仲良くさせて頂いています。今後も幼小の連携をしっかりと頂き、みんなで住みよい地域にしていけるよう協力していきたいです。

クラス() 氏名()

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:あまり達成できていない 1:達成できていない

評価分類		内 容	評 価
Ⅰ 保育の 計画性	1 園の教育理念・教育目標の理解	○園の教育理念や教育目標を理解する	
		○園の教育理念に基づいて教育目標について園長や保育者と話し合う	
	2 幼稚園教育要領の理解	○幼稚園教育要領を読み、園長や保育者と話し合って理解に努める	
	3 教育課程の編成	○園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成する	
		○園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画を立てる	
	4 指導計画の作成	○指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成する	
		○指導計画は幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性のあるものにする	
	5 環境の構成	○安全で清潔感のある環境を構成する	
		○幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具を考えて環境を構成する	
		○幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をする	
		○遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意する	
		○楽しい雰囲気の中で安心して遊びこめる環境を構成する	
		○幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成する	
		○幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示をする	
○園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、環境構成にいかす			
○幼児の発達や生活を見通した環境の構成をする			
○季節の変化に応じた環境の構成をする			
6 評価・反省	○自分の保育についての評価・反省をいくつかの観点から行う		
	○自分の保育を評価・反省することで、次の保育にいかす		
Ⅱ 保育の在り方、 幼児への対応	1 健康と安全への配慮	○朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないかを確かめる	
		○けがや事故に気をつけ、万一、事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に見てもらうなど適切な処置を行う	
		○園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考える	
		○園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温などに気を配る	
	2 幼児理解	○一人ひとりの幼児をよく観察すると同時に周囲にも目を配る	
		○幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめる	
		○個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しをもって理解する	
		○幼児同士のかかわりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する	
		○幼児たちが今、興味や関心をもっていることを知る	
		○幼児の理解のために家庭との連携をとる	
		○幼児の姿を多面的に捉えるように心がける	
	3 指導とかかわり	○幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動する	
		○幼児が理解しやすいような、正しい言葉を使う	
		○幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしない	
		○善悪の判断、思いやりなどの道徳性を培ううえでのモデルとなるように心がける	
		○幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける	
		○幼児の話をよく聞いたり、スキンシップをとるようにする	
		○幼児が遊びを深めていくための、適切な援助をするように心がける	
		○幼児の年齢に応じた援助の仕方を工夫する	
		○幼児が自ら考えたり工夫したりできるように見守り、行き詰まっているときには適切な援助をする	
○幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がける			
○幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしない			
4 保育者同士の協力・連携	○クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をするように心がける		
	○クラス的环境構成などについてお互いにフランクに意見を交換し合う		

			○幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	
			○他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うような、さまざまな工夫をする	
Ⅲ 保育者としての 資質と能力	1 専門家としての能力・姿勢・義務		○幼児の性格や個性を把握し、幼児の考えや感じていることを理解する	
			○保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	
			○保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がける	
			○幼稚園には自分自身のプライベートな生活をもち込まないようにする	
			○幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする	
			○服装、髪形、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がける	
			○職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	
			○園の重要書類は持ち出さない	
			○締切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守る	
Ⅳ 保護者への対応	2 組織の一員としての在り方		○教職員全員で一つのチームであることを自覚する	
			○他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるよう努める	
			○子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をする	
			○当番や役割による仕事は確実に行う	
			○園や保育者に関することについては、軽はずみに他に話さない	
	3 保育の楽しみ・喜び		○幼児の成長を自分の喜びと感じる	
			○幼児と一緒に生活を創りだすことを楽しいと感じる	
Ⅴ 地域の自然や 社会とのかかわり	1 情報の発信と受信		○保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	
			○保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がける	
	2 守秘義務の遵守		○保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従う	
			○個々の幼児や保護者、家族の情報は口外しない	
Ⅵ 研修と研究	3 対応上のマナー・心がまえ		○日常の生活において、その場にあった正しい言葉を使うようにする	
			○電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	
			○保護者からの依頼や伝言などについては、メモをするなどきちんと対応する	
	4 クレームへの対処の仕方		○保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に報告、連絡、相談をする	
			○クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで対処する	
Ⅶ 研修と研究	1 地域の自然・人々とのかわり		○地域の人々と親しくあいさつや会話を交わすように心がける	
			○地域の自然や主な施設の場所、交通機関、行事などについて理解するよう努める	
			○地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をする	
	2 小学校との連携		○小学校の教育内容について理解するよう努める	
			○地域の小学校の行事や公開授業に関心をもつ	
Ⅷ 研修と研究	3 子育ての支援と地域への開放		○子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解する	
			○子育ての支援や地域開放について、教職員全体で話し合う	
Ⅸ 研修と研究	1 研修・研究への意欲・態度		○研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する	
			○自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行う	
			○自分の保育の在り方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談する	
	2 保育者としての専門性に関する研修・研究		○幼児の発達理論を学び、保育にいかすための研修・研究を行う	
			○記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	
			○教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	
			○保育記録に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行う	
			○幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行う	
			○保護者への対応に関する研修・研究を行う	
			○地域社会との交流に関する研修・研究を行う	
			○保育者同士の協力・連携に関する研修・研究を行う	
Ⅹ 研修と研究	3 今日的課題に関する研修・研究		○アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解する	
			○障がいのある幼児の理解と対応について研修する	
			○預かり保育や子育ての支援について研修する	
			○幼小連携の必要性や具体的方策について研修する	
			○危機管理の必要性と対応について研修する	

令和6年度 自己評価集計表

No.		平均
I 保育の計画性	1-1	3.77
	1-2	3.23
	2-1	3.08
	3-1	3.77
	3-2	3.96
	4-1	3.92
	4-2	3.85
	5-1	4.08
	5-2	3.73
	5-3	3.38
	5-4	3.73
	5-5	3.92
	5-6	3.54
	5-7	3.54
	5-8	3.30
	5-9	3.69
	5-10	3.92
	5-11	3.31
	6-1	3.38
	6-2	3.70

No.		平均
II 保育の在り方、 幼児への対応	1-1	4.35
	1-2	4.58
	1-3	3.96
	1-4	4.19
	2-1	4.00
	2-2	4.04
	2-3	3.92
	2-4	3.92
	2-5	3.92
	2-6	3.89
	2-7	4.00
	3-1	4.04
	3-2	3.81
	3-3	4.44
	3-4	4.19
	3-5	4.15
	3-6	4.35
	3-7	4.00
	3-8	4.04
	3-9	3.96
	3-10	4.12
	3-11	4.73
	4-1	4.19
	4-2	3.77
	4-3	4.31
	4-4	3.42

No.		平均
III 保育者としての 資質と能力	1-1	4.04
	1-2	4.00
	1-3	4.19
	1-4	4.19
	1-5	4.44
	1-6	4.44
	1-7	4.81
	1-8	4.81
	1-9	3.96
	2-1	4.30
	2-2	4.00
	2-3	4.48
	2-4	4.15
	2-5	4.69
	3-1	4.54
	3-2	4.35

No.		平均
IV 保護者への 対応	1-1	4.19
	1-2	4.35
	2-1	4.81
	2-2	4.81
	3-1	4.15
	3-2	4.26
	3-3	4.35
	4-1	4.58
	4-2	4.37

No.		平均
V 地域の自然や 社会との関わり	1-1	4.19
	1-2	3.31
	1-3	2.27
	2-1	2.88
	2-2	2.81
	3-1	2.73
	3-2	2.48

No.		平均
VI 研修と研究	1-1	3.50
	1-2	3.70
	1-3	3.26
	2-1	3.08
	2-2	3.12
	2-3	3.04
	2-4	3.04
	2-5	3.08
	2-6	2.85
	2-7	2.54
	2-8	2.93
	3-1	3.31
	3-2	3.11
	3-3	2.77
	3-4	3.00
	3-5	3.04